



みず た ひろ お
水 田 博 夫

生 年 月 1986年4月京都府生まれ
最終学歴 2011年京都工芸繊維大学
大学院建築設計学専攻修了
2011年清水建設㈱入社
業務経歴 現在、関西支店建築設計
2部
●担当した主なプロジェクト
2016年 生長の家 茨城県教化部新会館
2019年 島津製作所 ヘルスケアR&D
センター
2020年 安田町新庁舎（竣工予定）

■青年技術者のことば

設計の社会的役割で私が重要と考えることは「骨格のある空間」をつくることです。

建築物は施主へ引き渡された後、利用者によって改修や更新が行われ、場合によっては所有者や用途が変わりながら社会に残り続けます。そのような建築物に重要なことは「変化を受け入れられる寛容さを持つこと」「コンテキストのある空間であること」だと思います。これらを持ち合わせることを、私は「骨格のある空間」であると考えます。それが強靱であれば、変化を受け入れながら永く愛され、使い続けてもらうことができると思います。

「変化を受け入れられる寛容さ」を実現するためには、合理的な構造・設備計画が重要です。そして、より重要な「コンテキストのある空間」は、地域にとっての建築物の在り方（存在意義・外観）／直接的な敷地周辺との関係性（立面・平面）／独自の性格をもつ空間（平面・断面）により形成されると考えます。これらが上手く構成されたとき、建築物に固有の存在意義が現れると思います。

設計行為には様々な条件・制約があり、解は無限にあります。その中から「骨格のある空間」を創り出せるように経験と見識を深めていきたいと思っています。

■すいせん者

小山裕之
清水建設㈱ 関西支店
建築設計2部 部長



島津製作所 ヘルスケアR&Dセンター



写真：稲住 康広（稲住写真工房）



生長の家 茨城県教化部新会館



写真：船来 洋志（株式会社 川澄・小林研二写真事務所）



安田町新庁舎

